給食に思いを込めて――

ちょうりじょうゆうびん
11月の予定献立表

ーおらほの食材ー

米・小松菜・キャベツ・じゃがいも・ねぎ・ごぼう・里芋・人参・りんご・大根・白菜・かぶ・納豆など

日	曜日	料理名
2	月	ごはん・牛乳・とりにくのごまごま焼き・切り干し大根煮・にらたま汁
4	水	コッペパン・牛乳・かぼちゃのひきにくフライ・キャベツとブロッコリーのコールスローサラダ・コンソメスープ
5	木	ごはん・牛乳・ポークカレー・ウインナー・ポパイサラダ
6	金	ごはん・牛乳・かつおと大豆のみそがらめ・小松菜としめじのおひたし・なめこのみぞれ汁
9	月	【東根小リクエスト】ごはん・牛乳・とりからあげ・中華サラダ・中華風コーンスープ・アセロラゼリー
10	火	ごはん・牛乳・いかの生姜焼き・白菜のとろみ炒め・緑黄色野菜のみそ汁・Ca & Mg ふりかけ
11	水	黒糖食パン・牛乳・チキンナゲット・じゃがいものチーズ煮・ベーコンとキャベツのスープ・ブルーベリー&マーガリン
12	木	ごはん・牛乳・冨岡義勇のさけ大根・カミカミサラダ・五目スープ
13	金	【蚕桑小６年バイキング給食】わかめごはん・牛乳・中華風厚焼き玉子・キャロットサラダ・大根とぶたひき肉のスープ
16	月	ごはん・牛乳・さんま南蛮漬け・青菜と切干大根のごま和え・もずくとたまごのスープ
17	火	ごはん・牛乳・ソースがしみしみとんかつ・切り昆布煮・かぶと厚揚げのみそ汁・マスカットゼリー

１１月は給食のお米（白鷹産はえぬき１等米）が新米に切り替わります。

米どころ山形県の子どもたちには、お米のおいしさ、そして新米ならではのおいしさがわかる味覚を育ててほしいものです。学校給食では、新米のこの時期に、ごはんのおいしさを味わう体験として、お米の甘さをシンプルに、そして最大限に引き立たせてくれる「新米つや姫塩おにぎり」を出します。

お米は、県ブランド推進本部さまより提供いただきます。大きな「新米つや姫塩おにぎり」を味わいながら、お米のおいしさだけでなく、農家の方の仕事や思いにも心を寄せる、そんな給食の時間になってほしいと思います。

日	曜日	料理名
18	水	やまこめもっちりコッペパン・牛乳・チキンのフレークやき・トッピングごぼうのフレンチサラダ・パンプキンスープ
19	木	ごはん・牛乳・中華丼・肉シューマイ・キャベツの塩こんぶ和え
20	金	ごはん・牛乳・さっくりメンチカツ・春雨のごま炒め・大根とえのきだけのみそ汁
24	火	【地産地消ウィーク】かきあげうどん・牛乳・炒りどうふ・白鷹のりんご
25	水	山形県産米粉食パン・牛乳・たまごサンドの具・県産大豆のツナサラダ・ミネストローネ
26	木	【つや姫おにぎり給食】つや姫塩おにぎり・牛乳・根菜入り平つくね・白鷹のおみづけ・とうふのみそ汁・山形県産ヨーグルト
27	金	ごはん・牛乳・コーンコロッケ・五色なっとう・白鷹産さといもの豚汁・オレンジ
30	月	ごはん・牛乳・チーズインハンバーグ・茎わかめと枝豆のサラダ・あさりのみそ汁・おかかふりかけ

※材料の都合により、献立を変更する場合があります。

町報川柳　― 歌 ―

次は何時代を映す流行り歌　十王　守屋　一郎
歌聞けば音痴の方が盛り上り　横浜市　大滝　正信
夢語り昭和演歌と茶碗酒　十王　守谷　勝助
歌手になる言って集団就職へ　鮎貝　植木　英夫
君が代は相撲の歌に押出され　山口　石川與次衛門
自画自賛風呂に響かす演歌かな　坂戸市　安達　功
音痴でも気にせず歌う野良仕事　十王　松野いせ子
楽しみはラジオで聞いた流行歌　十王　五十峯　隆
まだ一人歌わない人バスの中　十王　五十峯和恵
歌会の毛筆、半紙規定有り　横浜市　小形　聰明
歌自慢とっておきの十八番　高玉　高橋　朝子
田んぼから蛙一斉歌いだす　高玉　橋本つね子
童謡を歌い聞かせて今昔　箕和田　土屋　平敏
去年まで歌えたのどに八十を知る　菖蒲　小関　弘
幼稚園元気な歌が窓越しに　高岡　安部　健一
好きな歌聴いておやすみ夢の中　浅立　梅津美千子
風に揺れススキ秋桜歌いおり　荒砥乙　木口　とよ
歌い手は外国を見て自信つく　十王　松田　久一
カラオケで自慢の歌誰も聞ず　畔藤　安達　次男

次回「恩」十一月二十五日まで／「鐘」十二月二十五日まで（※作品には、ふりがなを振ってください）
白鷹町大字荒砥甲八三三番地　白鷹町役場企画政策課情報係　宛

地域おこし協力隊通信 第124回

笹本 秋桜

３年間、ありがとうございました！

11月23日をもちまして、地域おこし協力隊を退任します。

私が生まれ育った埼玉は住宅街だったこともあり、家々の屋根の合間からのぞく小さな空や、条件があえば遠くに小さく見える富士山が日常の風景でした。しかし白鷹町に来てからは、時間とともに刻々と表情を変える大きく開けた大空、季節ごとに色彩を変える山肌や咲き誇る植物など、四季の移ろいを大地から空にかけて全身で堪能する日々でした。

そんな白鷹での暮らしを満喫しつつも、ふと埼玉が恋しくなったときに思い出すのは友人との思い出の場所やお気に入りのうどん屋さんでした。白鷹での活動中も、地域の方々がお気に入りの散歩道や昔の風景を目を輝かせて話してくださる姿が強く印象に残っています。

名所や名店だけではなく、白鷹の何気ない風景や皆さんがこの町で紡いできた日々の中にも、白鷹だからこそのかけがえのない魅力が詰まっています。その魅力を発信できなかった心残りはありますが、ここで過ごした温かい時間は私の生涯の宝物です。これまで本当にありがとうございました。

11月19日には任期中最後の講座として、白鷹の植物で染めた深山和紙に刺繍をあしらい、折りたたみミラーを仕立てるワークショップを開催します。ご参加いただく皆さまと楽しく素敵なお時間を過ごせたらと思っております。





あゆみしる
白鷹町歴史民俗資料館

みんなで つむぐ 物語

白鷹町大字十王2558 1
☎ 88-7160
開館日 金・土・日 9:00-17:00
入館料 一般 ¥200 中学生以下 無料

